

平成 23 年 3 月 31 日

予算作成責任者 殿

学校法人東北学院
理事長 平河内 健治

平成 23 年度予算の削減・凍結と（暫定）補正予算の編成について

平成 23 年 3 月 11 日午後、突然発生した東北関東大震災では多くの尊い人命が奪われました。本法人においても、学生本人のみならず、学生・教職員のご家族にも死亡・行方不明者が出ていますし、各設置学校の建物・構築物等も大きな被害を受けています。

学校法人東北学院では被害を受けた各設置学校における教育研究活動が一日も早く回復し、軌道に乗せるように最大限の努力をしていきたいと思っております。

今後本格的な復旧に向けて、現地調査等を通じて正確な被害額の把握を行うこととなります。この調査は、補助金の額を実質的に決定する重要な調査ですから、各設置学校においては、その対応に万全を期していただきたいと思います。

このことを踏まえ、緊急時の対応として、（１）応急仮設校舎等の建設及び被災を受けた校舎等の修繕、（２）機器備品等の取替え、（３）授業料の減免措置等の特別措置を実施することを予定しています。一方、これらの施策を速やかに実行するためには多額の費用を伴うこと、また、入学辞退者、休・退学者の増加による学生生徒等納付金収入の減収が予想されることから、学校法人東北学院理事会は、「東北関東大震災からの復興に向けた基本方針」及び「東北関東大震災：平成 23 年度予算執行等に関する基本方針」を決定し、平成 23 年度予算示達額の一部を削減・凍結し復興財源に充当することといたしました。なお、予算示達額の削減・凍結には教育研究に関わる事項も当然含まれますことを申し添えます。

学校法人東北学院では、こうした状況に鑑み、速やかに（暫定）補正予算編成に着手いたします。ご不便をおかけいたしますが、ご協力のほどお願いいたします。